

金子堅太郎関係文書(その2)目録

国立国会図書館憲政資料室
2015年5月7日

金子堅太郎関係文書(その2)【凡例】

- ・記述項目は資料番号/枝番/タイトル/作成者/宛先/年月日/内容/記述法/数量/付属資
- ・年月日が推定可能なものについては〔 〕を付して記載した。

※本目録は、季武嘉也氏（国立国会図書館利用者サービス部客員調査員）が作成したものである。

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
1		秋山練造書簡	秋山練造	金子堅太郎	昭和13年3月16日	加藤刀畔の瓦印を進呈したことに對し、御揮毫を賜い感謝	墨書	1通	
2		東武書簡	東武	金子堅太郎	昭和13年8月19日	北海タイムス70周年記念座談会の際ご出発のお時間を通知下されたし	墨書	1通	昭和13年7月15日付座談会案内状(印刷)等 2枚
3	1	安達謙蔵書簡	安達謙蔵	金子堅太郎	昭和12年5月1日	第4回全国吟遊大会に御出席を願う	墨書	1通	
3	2	安達謙蔵書簡	安達謙蔵	金子堅太郎	昭和13年6月27日	玉稿を郵送下され感謝。さらにあと2首お願い致したし	墨書	1通	
4		阿部信行書簡	阿部信行	金子堅太郎	昭和14年10月23日	御懇書による御垂教感謝。近々お伺いして御高教を賜りたし	墨書	1通	
5		天羽英二書簡	天羽英二	金子堅太郎	昭和16年9月22日	御下命の次第は豊田大臣に伝えた。お話の報告書ならびに御追懐録中の「ル」大統領との会談は多大な教訓を得る	墨書	1通	
6	1	荒木貞夫書簡	荒木貞夫	金子堅太郎	昭和11年12月8日	「教育勅語の由来と海外に於ける感化」を御寄贈下され感謝。小生も修養のため神皇正統記を読む	墨書	1通	
6	2	荒木貞夫書簡	荒木貞夫	金子堅太郎	昭和13年10月23日	大正7年より人事推選を選挙にて行ふ習慣となる。5大学は収まり東大も収まりつつあるが、最後の断を下す必要があるかもしれず	墨書	1通	
7	1	荒木照定書簡	荒木照定	金子堅太郎	昭和11年12月10日	成田山新勝寺開基千年祭の加入者記載用の帳簿を送付するので勧誘をお願い致したし	墨書	1通	
7	2	荒木照定書簡	荒木照定	金子堅太郎	昭和13年2月25日	新勝寺のため御揮毫感謝。「憲法制定と欧米人の評論」御恵贈感謝	墨書	1通	
7	3	荒木照定書簡	荒木照定	金子堅太郎	昭和13年11月12日	御揮毫感謝	墨書	1通	「子の一月元日、伊藤東一郎翁当三光神社に参拝せられ金子子爵閣下の為め御祈禱を行ふ」との書付 1枚

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
8		有田八郎書簡	有田八郎	金子堅太郎	昭和15年2月5日	映画「還る齋藤大使」を米国大統領に贈る件につき、条約破棄問題等に追われ駐米大使館の手落ちで時機を失し申し訳なし	墨書	1通	
9		石井(内)書簡	石井(内)	金井紫雲	4年7月4日	主人の体調もだいぶ回復	墨書	1通	
10	1	石黒忠恵書簡	石黒忠恵	金子堅太郎	大正15年3月26日	久々上京、尊書は憂国の情が溢れ感銘。大橋肺炎、しかし全快に近づく	墨書	1通	
10	2	石黒忠恵書簡	石黒忠恵	塩原又策	昭和7年7月30日	病気故、お会いできず残念。米寿に結構なお品いただき感謝	墨書	1通	
10	3	石黒忠恵書簡	石黒忠恵	塩原又策	昭和7年8月31日	米寿祝いに結構な御品をいただき感謝	墨書	1通	
10	4	石黒忠恵書簡	石黒忠恵	金子堅太郎	昭和9年8月6日	御病気快癒めでたし。お見舞いに行きたいが老生も病気で外出不能	墨書	1通	
10	5	石黒忠恵書簡	石黒忠恵	金子堅太郎	昭和10年4月20日	機関説につき御開示にて分明安心。伊・井・伊三君逝去されるも閣下健在で心強し	墨書	1通	
10	6	石黒忠恵書簡	石黒忠恵	金子堅太郎	昭和13年3月2日	知人加藤知良が篆刻を閣下に献上したいとのこと。ご了承を願う	墨書	1通	
10	7	石黒忠恵書簡	石黒忠恵	中央新聞社	2年7月9日	避暑に関するアンケートへの回答	墨書	1通	
11		石黒英彦書簡	石黒英彦	金子堅太郎	昭和13年11月2日	北海道開道70周年記念事業につき、お願いの写真御送付下され感謝	墨書	1通	
12	1	一木喜徳郎書簡	一木喜徳郎	金子堅太郎	昭和3年3月1日	東山御文庫取調掛編纂「宸翰集」下賜する	墨書	1通	
12	2	一木喜徳郎書簡	一木喜徳郎	金子堅太郎	[昭和]2月12日	翠石筆虎の図の箱書を取り調べたところ、献上品とは別物と思われる	墨書	1通	
12	3	一木喜徳郎書簡	一木喜徳郎	金子堅太郎	[昭和]8月17日	御伝記編修、昼夜兼行の状況に満足	墨書	1通	
12	4	一木喜徳郎書簡	一木喜徳郎	金子堅太郎	4月20日	「皇室」写真は宮内省より貸与したもの、今度も同様貸与致すことになるのでご承知願いたし	墨書	1通	
12	5	一木喜徳郎書簡	一木喜徳郎	金子堅太郎	10月18日	枢密院は現在重要案件無く、ごゆっくり御静養下されたし	墨書	1通	

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
13		伊藤博邦書簡	伊藤博邦	金子堅太郎	[昭和]9月6日	御大典記念事業として朝日新聞社より「六国史校訂標注」刊行予定あり、三上参次を煩わしたいので、貴兄のご了解を得るため、佐伯有義を派遣するのでお会い下されたし	墨書	1通	
14	1	伊東巳代治書簡	伊東巳代治	金子堅太郎	大正14年12月18日	黒田侯爵から沿革説明を受け了解、昨日会議通過、御配慮感謝	墨書	1通	
14	2	伊東巳代治書簡	伊東巳代治	金子堅太郎	大正15年2月14日	病気回復、上京の節はご来臨を願う	墨書	1通	
14	3	伊東巳代治書簡	伊東巳代治	金子堅太郎	昭和4年7月7日	田中前首相より事情詳悉、君側の処置公明を失したとの印象を抱く	墨書	1通	
14	4	伊東巳代治書簡	伊東巳代治	金子堅太郎	昭和7年12月1日	外務省提案も葬り去られ御尽瘁感謝	墨書	1通	
14	5	伊東巳代治書簡	伊東巳代治	金子堅太郎	11月4日	東屋女将依頼の画帳今朝執筆、貴兄よりお渡し下されたし	墨書	1通	
15	1	稲畑勝太郎書簡	稲畑勝太郎	金子堅太郎	昭和12年11月29日	貴著「東洋の平和は亜細亜モンロー主義にあり」御寄贈感謝	墨書	1通	
15	2	稲畑勝太郎書簡	稲畑勝太郎	金子堅太郎	昭和12年12月29日	喜寿記念の冊子に題画をお寄せ下され感謝	墨書	1通	
15	3	稲畑勝太郎書簡	稲畑勝太郎	金子堅太郎	昭和16年4月9日	結婚50周年の祝品頂戴感謝	墨書	1通	
15	4	稲畑勝太郎書簡	稲畑勝太郎	金子堅太郎	[昭和]7月7日	病気大したことなくよかった	墨書	1通	
16		岩崎英重書簡	岩崎英重	金子堅太郎	大正13年8月12日	先日は御歓待感謝	墨書	1通	漢詩の書かれた紙片3枚、封筒差出人柴田駒三郎他六名
17		宇垣一成書簡	宇垣一成	金子堅太郎	昭和13年9月22日	史談拝聴のため神川彦松教授参趣、感謝。御伝言拝承	タイプ	1通	
18	1	内田信也書簡	内田信也	金子堅太郎	昭和14年4月5日	国鉄疑獄事件での最終陳述要旨を送付す	墨書	1通	内田信也「最終陳述要旨」1綴
18	2	内田信也書簡	内田信也	金子堅太郎	昭和15年12月	小生の裁判の判決書抜粋を送付す	印刷	1通	牧野良三「判決要旨」昭和15年12月1枚
19		大久保利武書簡	大久保利武	金子堅太郎	昭和7年8月9日	御歓待下され感謝	墨書	1通	
20		大谷正男書簡	大谷正男	金子堅太郎	昭和11年11月16日	教育勅語に関する御講演筆記ご献上に対し、満足に思召られる	墨書	1通	

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
21	1	岡田啓介書簡	岡田啓介	金子堅太郎	昭和2年3月14日	日本海海戦後の貴兄宛ルーズベルト書簡御恵送感謝、同書簡は三笠に保存の予定	墨書	1通	
21	2	岡田啓介書簡	岡田啓介	金子堅太郎	昭和3年1月17日	練習艦隊についてのボストン新聞切抜き御送付感謝	墨書	1通	
22		小倉信近書簡	小倉信近	金子堅太郎	大正13年3月28日	亡令嬢の御遺墨御恵贈感謝	墨書	1通	
23	1	尾崎行雄書簡	尾崎行雄	金子堅太郎	昭和13年1月7日	拙宅火災の際は衣服御恵贈下され感謝	ペン書	1通	
23	2	尾崎行雄書簡	尾崎行雄	金子堅太郎	[昭和]5月15日	御病勢減退との事、イチゴを贈る	ペン書	1通	
24	1	尾佐竹猛書簡	尾佐竹猛	藤井甚太郎	昭和12年5月4日	衆議院で憲政史編纂の挙あり、貴兄にも委員に加わってほしい	墨書	1通	
24	2	尾佐竹猛書簡	尾佐竹猛	金子堅太郎	昭和13年3月5日	別紙は元老院時代に御調査されたものか	墨書	1通	「各国憲法異同疑目」1綴
24	3	尾佐竹猛書簡	尾佐竹猛	金子堅太郎	4月14日	御高著謹読、熱涙滂沱す	墨書	1通	
25		小尾保書簡	小尾保	金子堅太郎	3月26日	拙作に御次韻を賜り感謝	墨書	1通	
26	1	加藤寛治書簡	加藤寛治	金子堅太郎	昭和5年8月9日	米国上院における重要質問答弁、至急御覧に入れたし	墨書	1通	
26	2	加藤寛治書簡	加藤寛治	金子堅太郎	昭和5年9月1日	「倫敦軍縮条約米全権試案」、「米国の造艦能力と軍縮問題」各1綴	墨書、ペン、印刷 [謄写]	1通	
26	3	加藤寛治書簡	加藤寛治	金子堅太郎	昭和5年9月13日	米国軍事彙報第245号「米全権Reed氏の暴言」1綴	墨書、印刷 [謄写]	1通	
26	4	加藤寛治書簡	加藤寛治	金子堅太郎	昭和6年6月24日	威海衛還付声明に関する米紙を尊覧に供す	墨書	1通	
26	5	加藤寛治書簡	加藤寛治	金子堅太郎	昭和8年2月18日	統帥権に関する帷幄の決定、別紙の如く処理せらるることになる	墨書	1通	
26	6	加藤寛治書簡	加藤寛治	金子堅太郎	昭和10年1月11日	七言絶句拝受、感謝	墨書	1通	
26	7	加藤寛治書簡	加藤寛治	金子堅太郎	昭和10年2月1日	英首相の軍縮予備交渉報告演説についての御所感拝承	墨書	1通	

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
26	8	加藤寛治書簡	加藤寛治	金子堅太郎	昭和12年12月24日	対米外交に関心を持つ牧宏安を紹介す	墨書	1通	名刺「牧宏安」1枚
27	1	金子堅太郎内申書(写)	金子堅太郎	広田弘毅・島田俊雄	昭和11年10月12日	有賀長文を貴族院議員に推薦する理由	墨書	1通	
27	2	金子堅太郎書簡	金子堅太郎	米内光政	昭和15年2月12日	駐中米国大使ジョンソンの米国政府への報告書は驚くべきもので、将来日本は中国の欧米権益をすべて占有するであろうと書かれている	墨書	1通	
27	3	金子堅太郎書簡	金子堅太郎	藤井甚太郎	4月16日	倅武麿卒業につき、お世話になった感謝のしるしとして粗品進呈	墨書	1通	
27	4	金子堅太郎書簡	金子堅太郎	藤井甚太郎	6月25日	北島親房他1冊を送付下されたし	墨書	1通	
28		釜屋忠道書簡	釜屋忠道	金子堅太郎	昭和5年7月12日	国防の拙詩を某要人に与えた	墨書	1通	「寄某々要人」と題する漢詩1枚
29		北崎巽書簡	北崎巽	金子堅太郎	大正14年10月22日	北海道巡視の際の演説筆記脱稿、校正を乞う	墨書	1通	
30	1	木戸幸一書簡	木戸幸一	金子堅太郎	昭和10年2月28日	華族革正、学習院改革のご意見ごもっとも、いずれ貴見を伺いたし	墨書	1通	
30	2	木戸幸一書簡	木戸幸一	金子堅太郎	昭和12年8月30日	海外に特使派遣と時局收拾の件を近衛公に伝える。近衛も同感	墨書	1通	
30	3	木戸幸一書簡	木戸幸一	金子堅太郎	昭和12年9月25日	南京空爆宣言についてのご意見は内大臣も同意、近衛公も注意深く聞く	墨書	1通	
30	4	木戸幸一書簡	木戸幸一	金子堅太郎	昭和12年10月30日	文相就任祝辞感謝、バトラー博士の書簡お示し下され熟読、近衛にも示す	墨書	1通	
30	5	木戸幸一書簡	木戸幸一	金子堅太郎	[昭和]3月20日	学習院改革は近き将来成果を上げたし。15銀行問題も苦心研究中	墨書	1通	
30	6	木戸幸一書簡	木戸幸一	金子堅太郎	[昭和]8月13日	ネーション誌記事拝受、言上したし	墨書	1通	
31		木野為次郎書簡	木野為次郎	金子堅太郎	大正14年9月6日	我ら北海道札幌郡篠路村福岡県土族移住者の苦境に対する御同情に感謝す	墨書	1通	
32	1	木村清四郎書簡	木村清四郎	金子堅太郎	大正15年7月4日	公債交付の件、一両日中に大蔵当局に懇談し早く交付するよう督促す	墨書	1通	
32	2	木村清四郎書簡	木村清四郎	金子堅太郎	大正15年7月23日	大震災で喪失した証券の再発行手続きについて	墨書	1通	

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
33		刑部斉書簡	刑部斉	金子堅太郎	昭和3年10月25日	親友片口安太郎の詩と書簡を送付す	墨書	1通	潮帆(刑部斉)宛片口安太郎書簡1通
34	1	清浦奎吾書簡	清浦奎吾	金子堅太郎	昭和3年10月22日	展覧会に黒田侯爵家所蔵品を出したく、黒田家への交渉に尽力下されたし	墨書	1通	「御大典奉祝全国名城大展覧会趣意書」昭和3年10月1点
34	2	清浦奎吾書簡	清浦奎吾	岩溪晋(裳川)	昭和11年8月28日	漢詩の添削感謝	墨書	1通	
34	3	清浦奎吾書簡	清浦奎吾	金子堅太郎	12月11日	本願寺大谷尊由が貴兄に面会を乞うので紹介す	墨書	1通	
35		倉富勇三郎書簡	倉富勇三郎	金子堅太郎	大正15年5月12日	病気の為、議長(枢密院)就任の挨拶遅れ申し訳なし	墨書	1通	
36		黒井悌次郎書簡	黒井悌次郎	金子堅太郎	7月3日	今泉雄作氏に鑑定願いたき屏風は美術協会事務所に預け置いた	墨書	1通	
37	1	黒沢次久書簡	黒沢次久	金子堅太郎	大正12年9月6日	大震災における被害状況の報告。維新史料事務局の稿本は無事。朝鮮人放火の恐れあり	墨書	1通	
37	2	黒沢次久書簡	黒沢次久	金子堅太郎	昭和5年4月16日	竹越氏は4~5年にて必ず完成させる(『明治天皇紀』)との強い決心なので安心	墨書	1通	
38		小杉放庵書簡	小杉放庵	金井紫雲	5月19日	御令息の逝去を悼む	墨書	1通	
39		近衛文麿書簡	近衛文麿	金子堅太郎	昭和16年2月20日	病気見舞い感謝	墨書	1通	
40	1	小橋一太書簡	小橋一太	金子堅太郎	大正14年2月6日	政友本党の選挙権拡張案を送付す	墨書	1通	
40	2	小橋一太書簡	小橋一太	金子堅太郎	昭和12年3月15日	五箇条の御誓文に関する御高話に感服、菅原姓の小生には特にありがたし	墨書	1通	
41		小室翠雲書簡	小室翠雲	金子堅太郎	大正14年12月14日	伊藤公の遺品御恵投感謝	墨書	1通	
42		斎藤実書簡	斎藤実	金子堅太郎	大正13年2月6日	紅蓼を送付す	墨書	1通	
43	1	侍従職書簡	侍従職	金子堅太郎	昭和12年7月7日	陛下よりの下賜品目録	墨書	1通	
43	2	上直侍従書簡	上直侍従	金子堅太郎	8月2日	陛下よりの下賜品目録	墨書	1通	
44	1	渋沢栄一書簡	渋沢栄一	金子堅太郎	大正13年3月6日	米国派遣員に付、貴兄を推したが内閣は考案中とのこと	墨書	1通	
44	2	渋沢栄一書簡	渋沢栄一	金子堅太郎	4月8日	米国移民問題で米国大使は特使派遣は有害無益というが、ジャンク氏は貴兄ならば有効かもしれないとのこと	墨書	1通	
45	1	杉山元書簡	杉山元	金子堅太郎	昭和12年9月13日	昨日は御高話拝聴、感謝	墨書	1通	

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
45	2	杉山元書簡	杉山元	金子堅太郎	昭和12年10月31日	上海での戦果を外交でも生かし今回戦争の目的を達成すべしとのご意見感謝	墨書	1通	
46		鈴木貫太郎書簡	鈴木貫太郎	金子堅太郎	昭和4年8月13日	両陛下よりの下賜品目録	墨書	1通	
47		鈴木荘六書簡	鈴木荘六	金子堅太郎	昭和11年12月2日	貴著『教育勅語の由来』御恵贈感謝	墨書	1通	
48	1	高橋義雄書簡	高橋義雄	金子堅太郎	昭和5年4月30日	伊藤公七絶、御恵呈感謝。『近世道具移動史』拝呈	墨書	1通	
48	2	高橋義雄書簡	高橋義雄	金子堅太郎	5月5日	御揮毫御恵寄感謝	墨書	1通	
49		瀧正雄書簡	瀧正雄	金子堅太郎	昭和12年6月28日	昨日推参し一方ならざる接待にあずかり感謝	墨書	1通	
50		竹下勇書簡	竹下勇	金子堅太郎	昭和3年11月3日	1919年1月3日付竹下宛セオドア・ローズベルト書簡の写しを送付す	ペン書	1通	
51	1	田中義一書簡	田中義一	金子堅太郎	昭和4年5月17日	不戦条約の「人民の名において」という字句に関する日本政府宣言につき、伊東伯、両議長と御協議感謝。ここに成案を得る。拓務省官制に関する審議、宜しく頼む	墨書	1通	(1)昭和4年5月15日付金子堅太郎宛田中儀一書簡1通／(2)日本帝国政府宣言(和文1通、英文1通)
51	2	田中義一書簡	田中義一	金子堅太郎	昭和4年5月23日	拓務省官制につき尽力感謝。条約の文字は対米関係において好都合	墨書	1通	
52		田中平八書簡	田中平八	中央新聞社	2年7月12日	避暑に関するアンケートに対し別紙の如く回答す	墨書	1通	
53		田中光顕書簡	田中光顕	金子堅太郎	昭和12年12月16日	発熱のため御答え延引し申し訳なし	墨書	1通	
54		団伊能書簡	団伊能	藤井甚太郎	昭和29年6月8日	自由党憲法調査会で天皇の地位に関する講演を承りたし	墨書	1通	
55		筑紫熊七書簡	筑紫熊七	金子堅太郎	昭和8年5月31日	満州国憲法につきご意見伺いたし。本書持参の鹿子木博士は憲法につき考えを有しており御引見を願う	墨書	1通	(1)「昭和8年5月上旬 憲法制度調査指導準則私案並説明 筑紫参議」1綴／(2)名刺「鹿子木員信」1点

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
56		駐日満州帝国公使館書簡	駐日満州帝国公使館	金子堅太郎	昭和10年1月15日	国務院総務庁長よりの憲法に関する報告書、および国務総理大臣よりの謝状を贈呈す	タイプ	1通	昭和9年12月付鄭孝胥書簡(中国語) 1通
57	1	珍田捨巳書簡	珍田捨巳	金子堅太郎	大正14年4月25日	皇太子同妃両殿下御誕辰祝いの酒、下賜すとの申進状	墨書	1通	
57	2	珍田捨巳書簡	珍田捨巳	金子堅太郎	昭和2年1月10日	日露戦役にかんする御講演は賀陽宮殿下に奉呈す	墨書	1通	
57	3	珍田捨巳書簡	珍田捨巳	金子堅太郎	昭和2年6月28日	掲載完結の上是非奉呈致し度し。出版の分随時御恵送下されたし	墨書	1通	
57	4	珍田捨巳書簡	珍田捨巳	金子堅太郎	昭和3年12月3日	鳴、下賜すとの申進状	墨書	1通	
58		寺内寿一書簡	寺内寿一	金子堅太郎	昭和16年6月4日	お元氣になられ喜ばし	墨書	1通	
59		徳川家達書簡	徳川家達	金子堅太郎	昭和12年4月19日	明治神宮奉賛会解散式挙行、多年の勤労に対し別紙目録の通り贈呈す	墨書	1通	4月22日付、金子堅太郎宛秋庭義次書簡 1通
60		徳川達孝書簡	徳川達孝	金子堅太郎	大正13年12月15日	賜物を下賜すとの申進状	墨書	1通	
61	1	徳富猪一郎書簡	徳富猪一郎	藤井甚太郎	大正11年10月6日	『憲法制定史』御恵贈感謝	墨書	1通	
61	2	徳富猪一郎書簡	徳富猪一郎	金子堅太郎	昭和3年2月9日	社員に御引見くだされ感謝	墨書	1通	
62	1	永井柳太郎書簡	永井柳太郎	金子堅太郎	昭和12年6月10日	逋信大臣就任挨拶	墨書	1通	
62	2	永井柳太郎書簡	永井柳太郎	金子堅太郎	昭和12年11月27日	貴著『憲法制定と欧米人の評論』御恵与感謝、機関説問題発生するも、貴著により日本独特の立憲政体に関する思想を徹底するよう切望す	墨書	1通	
63	1	長岡外史書簡	長岡外史	金子堅太郎	大正15年9月24日	貴著『日露戦役間に付て金子子爵の講演』寄贈感謝、いずれ拙著「日露回顧録」の御一覽を願う	ペン書	1通	
63	2	長岡外史書簡	長岡外史	金子堅太郎	6月25日	日露戦争末期の権太の状況に関する質問に対し回答す	ペン書	1通	
64		中村樸太郎書簡	中村樸太郎	藤井甚太郎	2月12日	娘縁談整い感謝	墨書	1通	「吉村明氏夫人綾子さんの父上中村春堂氏(書簡)の筆なり」とのメモ 1枚

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
65		野崎広太書簡	野崎広太	金子堅太郎	昭和4年4月18日	日露戦争当時の伊藤公吟詠並びに老台和歌御恵贈感謝	墨書	1通	
66	1	原嘉道書簡	原嘉道	金子堅太郎	昭和4年1月14日	御願い御快諾感謝。張作霖事件は調査間に合わないため政府は議会では討議を避ける方針	墨書	1通	
66	2	原嘉道書簡	原嘉道	金子堅太郎	昭和11年10月14日	有賀君貴族院議員御推薦感謝	墨書	1通	
66	3	原嘉道書簡	原嘉道	金子堅太郎	昭和12年9月15日	外相の報告は、米国政府は日本の特派大使派遣を希望せず、クレーギー大使は日英親善に努めたし、など	墨書	1通	
66	4	原嘉道書簡	原嘉道	金子堅太郎	昭和12年11月23日	貴著『憲法制定と欧米人之評論』御恵贈感謝	墨書	1通	
66	5	原嘉道書簡	原嘉道	金子堅太郎	昭和13年9月23日	教育制度改革に関するご意見前文相に提出とのこと、謄本拝読、各委員に資料として配布する	墨書	1通	
66	6	原嘉道書簡	原嘉道	金子堅太郎	11月3日	揮毫感謝	墨書	1通	
67		百武三郎書簡	百武三郎	金子堅太郎	昭和14年12月15日	御下賜金拝受書落手した	墨書	1通	
68	1	広田弘毅書簡	広田弘毅	金子堅太郎	大正13年7月2日	別紙の亜細亜局調査書類を送付す	タイプ	1通	「支那人入国問題」1綴
68	2	広田弘毅書簡	広田弘毅	金子堅太郎	大正13年8月5日	「支那人排斥法」と移民に関する「米支条約」について大審院が下した判決に対する外務省の見解	タイプ	1通	「日本魂に塗られた一大汚辱」と題された雑誌論文の一部 1枚
69	1	藤井甚太郎書簡	藤井甚太郎	趙欣伯	昭和9年10月2日	金子堅太郎の意見を伝える、帝室御料地の研究が必要なこと、外国の承認を急がないこと	タイプ	1通	
69	2	藤井甚太郎書簡	藤井甚太郎	金子堅太郎	昭和10年11月25日	(「日本書紀」「令義解」の一部抜粋)	墨書	1通	
70		船田中書簡	船田中	金子堅太郎	昭和12年12月8日	枢密院での保健社会省、日ソ漁業協定、日伊・日暹通商条約、文官任用令等などについて	墨書	1通	
71		穂積陳重書簡	穂積陳重	金子堅太郎	[大正]11月19日	皇太子殿下御侍詠に御揮毫下され感謝	墨書	1通	
72	1	堀内謙介書簡	堀内謙介	金子堅太郎	昭和12年11月28日	ブライス卿やレヅジャー・シンジケート取扱いに関するに件について	墨書	1通	

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
72	2	堀内謙介書簡	堀内謙介	金子堅太郎	昭和13年4月19日	金子堅太郎寄稿のレジャー通信社に宛てたメッセージの取り扱われ方についての報告	タイプ	1通	(1) 金子堅太郎「東亜における日本の責務」1綴／(2) その英訳 1綴
73	1	前田利為書簡	前田利為	金子堅太郎	昭和8年1月21日	瑤作一首、御揮毫写御恵贈感謝	墨書	1通	
73	2	前田利為書簡	前田利為	金子堅太郎	5月22日	「米国大統領会見始末」読了、御返却す	ペン書	1通	
74	1	牧野伸顕書簡	牧野伸顕	金子堅太郎	昭和8年10月19日	全身の痒み、御教示の薬草を試している	墨書	1通	
74	2	牧野伸顕書簡	牧野伸顕	金子堅太郎	[昭和]6月5日	水薬御恵贈感謝、効果ありそうなので今後も試用のつもり	墨書	1通	
74	3	牧野伸顕書簡	牧野伸顕	金子堅太郎	[昭和]7月10日	華族制度に関する冊子拝読、感謝	墨書	1通	
75	1	町田経宇書簡	町田経宇	金子堅太郎	昭和7年9月2日	満州事変についての神田正雄の報告書を送付す	墨書	1通	(1)～(4) 神田正雄氏よりの報告第1～4号 4綴／(5) 葵堂「賦呈金子溪水先生」と題する漢詩 1点
75	2	町田経宇書簡	町田経宇	金子堅太郎	昭和8年8月25日	このままでは日満対米支となり日本の不利これより大なるはなし	墨書	1通	葵堂「龍沢荘偶感」と題する漢詩 1枚
76		町田忠治書簡	町田忠治	金子堅太郎	昭和12年12月5日	参議会は毎月二回開催、腹藏なく意見交換、近く近衛公に進言の予定	墨書	1通	
77		松井慶四郎書簡	松井慶四郎	金子堅太郎	大正13年2月27日	米国に誰かを派遣することは閣僚も了解、近く渋沢翁と相談の予定	墨書	1通	
78	1	松浦鎮次郎書簡	松浦鎮次郎	金子堅太郎	昭和13年2月4日	枢密顧問官拝命、今後の指導を願う	墨書	1通	
78	2	松浦鎮次郎書簡	松浦鎮次郎	金子堅太郎	昭和15年7月27日	枢密顧問官拝命につき指導を願う	墨書	1通	
79	1	松平恒雄書簡	松平恒雄	金子堅太郎	昭和3年12月27日	グリッフィス氏依頼の原稿に関し外務省ワシントン大使館より發送遅れ申し訳なし	墨書	1通	
79	2	松平恒雄書簡	松平恒雄	金子堅太郎	[昭和]10月21日	金子次男別居の際、華族身分取扱いについての回答	墨書	1通	
80		三浦梧楼書簡	三浦梧楼	金子堅太郎	大正13年1月27日	枢密顧問官辞職す、庸人等一己の虚栄心に没頭し遺憾少なからず	墨書	1通	
81	1	三井高棟書簡	三井高棟	金子堅太郎	昭和12年2月2日	宝珠御画讃御贈与感謝	墨書	1通	

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
81	2	三井高棟書簡	三井高棟	金子堅太郎	昭和15年12月2日	伊藤博文公伝、御恵贈感謝	墨書	1通	
82		三土忠造書簡	三土忠造	金子堅太郎	昭和2年10月29日	十五銀行問題資料御恵贈感謝	墨書	1通	
83	1	南次郎書簡	南次郎	金子堅太郎	昭和13年1月17日	結構な御品御恵贈感謝	墨書	1通	
83	2	南次郎書簡	南次郎	金子堅太郎	昭和13年2月11日	本夜のラジオで御講演には半島民衆の心からなる感謝が表現せられていた。1月滞在中は美酒をもらい感謝	墨書	1通	
83	3	南次郎書簡	南次郎	金子堅太郎	昭和13年5月27日	朝鮮人参送付す	墨書	1通	
83	4	南次郎書簡	南次郎	金子堅太郎	昭和14年3月26日	令息武磨様大元氣、天気よければ午後新京に飛行の予定	墨書	1通	
84		宮田光雄書簡	宮田光雄	金子堅太郎	昭和5年1月22日	昨年の自分の不注意による事件に対し御同情感謝。団様にお会いの節は宜しく取りなしを願う	墨書	1通	
85		元田肇書簡	元田肇	金子堅太郎	昭和12年10月10日	米国の方針一変、閣下の御意見聞きたし。邦家の前途を憂慮、何とか挙国一心、万難を排したし	墨書	1通	
86		森岡二郎書簡	森岡二郎	金子堅太郎	昭和3年8月3日	義公(徳川光圀)生誕三百年記念会のため御講演下され一同感謝す	墨書	1通	
87	1	山本悌二郎書簡	山本悌二郎	金子堅太郎	昭和3年8月2日	『戦友』日露戦役回顧談号、御投与感謝	墨書	1通	
87	2	山本悌二郎書簡	山本悌二郎	金子堅太郎	昭和12年8月28日	使節特派についての御意見に同感、衆議院を代表し自分と清瀬一郎が近衛首相に面会。首相も同意。人物選考に注意するよう伝えた	墨書	1通	
88	1	米内光政書簡	米内光政	金子堅太郎	昭和15年2月19日	米国之考ふる処は要するに我所謂「東亜新秩序建設」なるものは「門戸開放主義」と根本的に相容るものにあらずといふにありと被存申候所、その誤解を解消せしむべき方法手段につきては先般既に関係閣僚と意見を交換し差当手近の懸案を解決し「論より証拠」主義にて進むことに致し之を実行に移すことに致申候	墨書	1通	
88	2	米内光政書簡	米内光政	金子堅太郎	昭和15年7月22日	御期待にそえず退官となり申し訳なし	墨書	1通	
89		若槻礼次郎書簡	若槻礼次郎	金子堅太郎	昭和3年6月6日	『花香月影』所載の巴調一瞥を得、和韻の玉作御垂示下され有難し	墨書	1通	

金子堅太郎関係文書(その2)目録

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	数量	付属資料
90		汪栄宝書簡	汪栄宝	金子堅太郎	昭和3年8月11日	王君大楨来遊、日本の名士に会い親善の目的を達したいとのことなので、お会いしてほしい	墨書・中国語	1通	
91	1	趙欣伯書簡	趙欣伯	金子堅太郎	昭和7年11月22日	司法制度調査で日本に行く馮司法総長にご協力下されたし	墨書	1通	
91	2	趙欣伯書簡	趙欣伯	藤井甚太郎	昭和9年9月10日	憲法調査報告書に講師の写真を掲載したいので近日写真師がそちらに赴くのでよろしく	墨書	1通	
91	3	趙欣伯書簡	趙欣伯	金子堅太郎	昭和9年10月23日	憲法調査にご意見を賜り感謝	墨書	1通	
92		Fanny MacVeagh書簡	Fanny MacVeagh	金子堅太郎	昭和7年3月16日	団琢磨の暗殺残念。近況報告	タイプ	1通	